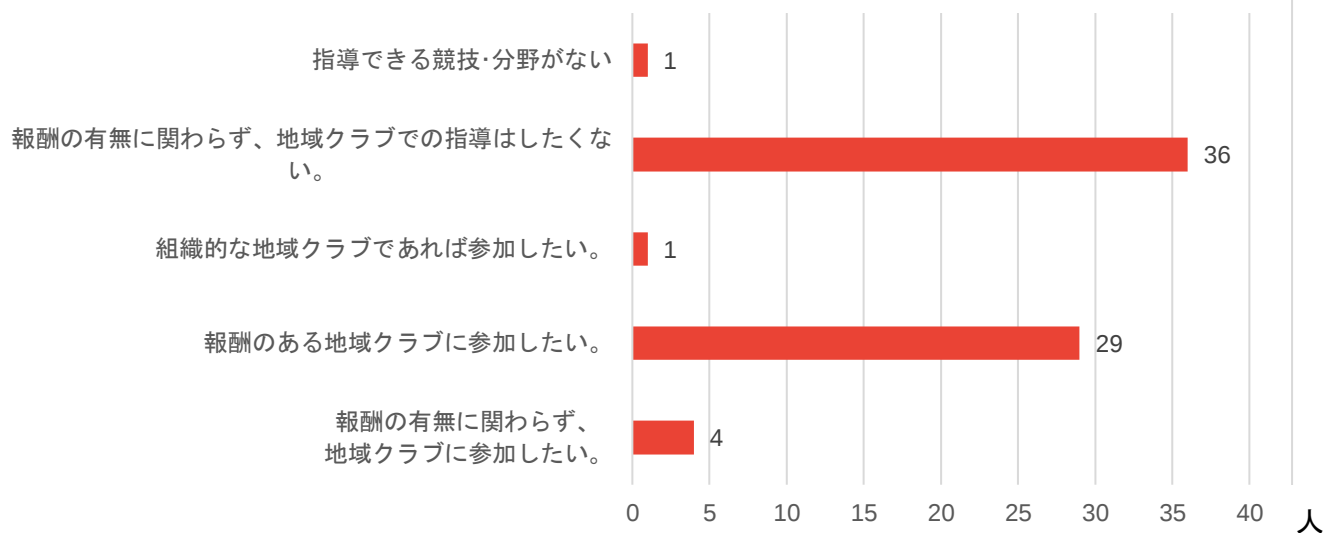


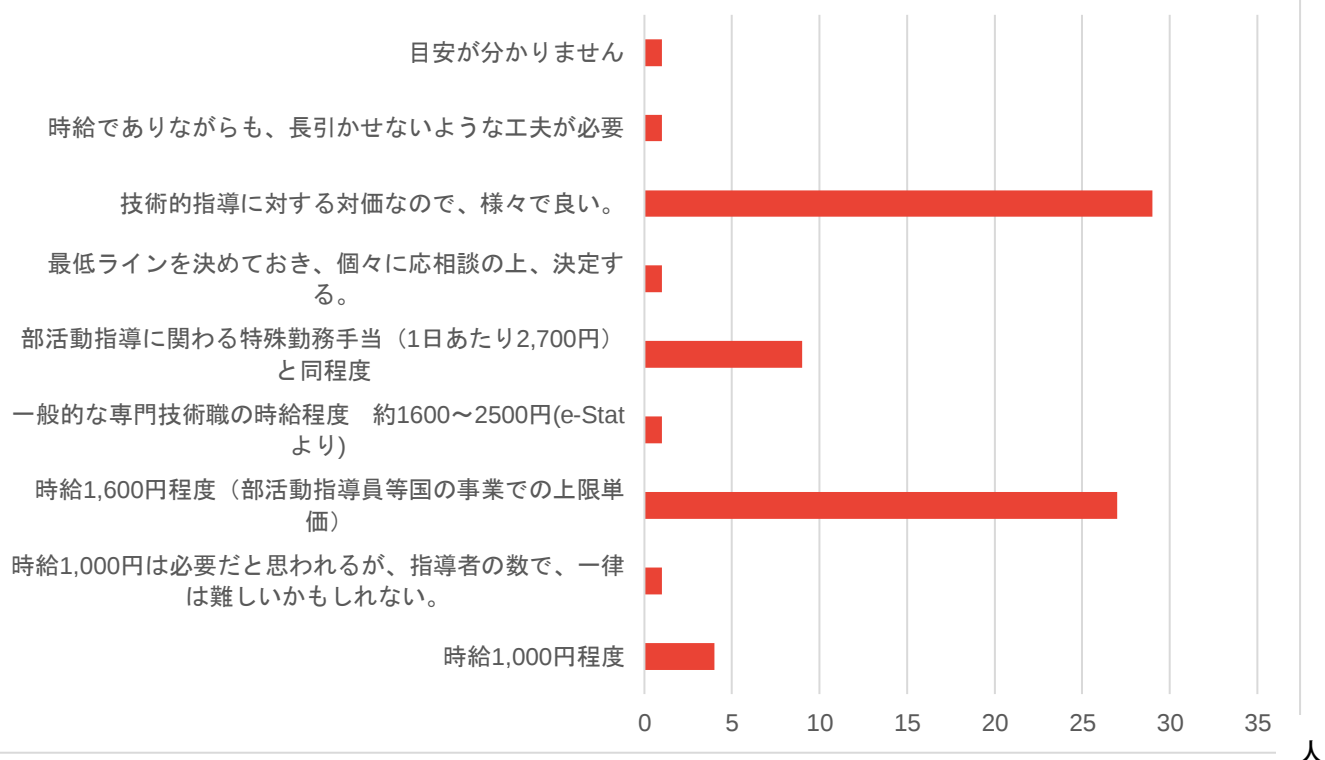
【調査結果】部活動地域展開アンケート（顧問対象）

回答数：75 人

兼職兼業の労働の対価について



地域クラブの指導者の報酬は、どれくらいが適切だと考えますか



～顧問アンケート 自由記述～

- 部活動に対する考えや関わり方にも個人差が大きいと感じるので、本人の意思を尊重する方向が望ましいと思います。
- 地域移行が進み、部活動指導の負担が軽減することを望みます。
- 地域に人材がいないので、現状維持でいいと思います。研修等を受けている指導者は、仕事があり、平日、週末ともに時間がないため、地域の指導者は現実的に難しい。退職した方で適任者はごくわずかで、各競技団体に役職がある方がほとんどで、地域クラブをやる時間がない。中体連や高体連、各競技団体の大会が削減されれば、指導者も生徒も余裕が生まれていいと思います。
- 地域によって地域移行の進み方に差があり、地域や競技によって地域移行のニーズに差がある点が難しいと感じています。新入生の保護者や小学校の保護者からも「部活動どうなりますか」とここ2、3年聞かれますが、明確に答えられず、お互いに戸惑っている状態です。個人的に移行については流れに合わせるので意向はないのですが、見通しを打ち出していただけると助かります。大変だと思いますがよろしくお願いいたします。
- 他県や他地域は地域移行への取り組みが迅速に進んでいることを教員仲間でも聞きますが、この地区に異動になり、あまりにも進んでおらずどうなっているのかと思う。教員は配属場所は指定されるため、どこの地域で働くかは選べない。せめて、各地域ではなく、全県で統一した動きを示すべきだと思う。
- 地域移行をするにあたり、大会の運営の在り方や中体連組織の仕組みが同時に変化しない限り、ねじれたまま生徒にしわ寄せが行くことが目に見える感じがします。
- 早く地域移行を進めて欲しい。保護者の理解を得られるように、保護者への周知もして欲しい。
- 部活動は生徒にとっても学校で指導する側にとっても、あればいいと思っていますが、それが無償でさらに教員のプライベートを犠牲にしてまで行われるのはおかしいと思います。部活動をしていると当たり前のように時間外に業務があったり、休日がなかったりと報酬のない業務に対して家庭よりも優先しなければいけないことが多すぎます。地域移行も1つの方法だとは思いますが、1番は、報酬ありで部活動を存続させることだと考えます。部活動がモチベーションの1つになっていることもあります。教員側としても学校生活だけではなく、部活動でも活躍する生徒を応援できるのはとても嬉しいです。ぜひ、生徒にとっても教員にとっても最善の方法を考えていただきたいと思っています。
- 「人間形成」やスポーツや文化に「親しむ」ことから、とても重要な「もの」と考えます。ただ、時代の流れには逆らえず、中学校の業務改善のホットポイントであることは明白です。とても極端な言い方ですが、将来的に「中学校教員を目指す人がいなくなる」か「部活動がなくなる」かの分岐点であると思います。期限を切って、「野々市市の中学校から部活動をなくす」ことが難しければ、①休日は中学校顧問が指導しての部活動は行わない（指導したい中学校顧問は地域指導者として登録し兼業とする） ②平日は月水金の3日間（もしくは火木の2日間）のみとする ③平日の活動時間は2時間以内とする ④中学校顧問は1つの部に対して3名以上とする（顧問数が足りなくなるので、布水中和野々市中の部活動の重なりをなくす） ⑤中学校顧問が希望する場合、技術指導をできる外部指導者を必ずつけるなどの思い切った取組が必要と考えます。